

# 30年度一般会計決算認定

歳入51億5,424万円、歳出50億7,143万円



上熊井集落センター予定地

## 第3回定例会

令和元年第3回定例会が、9月3日から13日までの11日間にわたり開催されました。提出議案は、条例の制定に関するもの9件、平成30年度決算認定に関するもの8件、平成30年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分に関するもの1件、令和元年度補正予算に関するもの5件、工事請負契約の締結に関するもの3件、工事請負契約の変更契約の締結に関するもの1件、人事案件3件の30議案で、いずれも認定・可決されました。

### 平成30年度一般会計決算

#### 歳入

**問** 地方債残高が64億円あるが、危機感を持っている。このまま町債を増やしていくのか。

**答** 起債が必要な事業があれば、今後も起債をしていく事になる。

**問** 身の丈に合った起債を考慮できないか。

**答** 起債しないでやっていきたいが、予算編成の中で、よく検討させてもらう。

#### 歳出

**問** 民生委員活動費34万5000円とあるが、

委員の構成は何人か。

**答** 民生委員33人と、主任児童委員2人の35人。

**問** 報酬はどうか。また、活動費の内訳は。

**答** 無報酬。児童部会や障害者部会等を設置して、それらに係る費用だ。

**問** 今、亀井小学校児童は車で送迎し、おしゃもじ山クラブを利用して

いる。おしゃもじ山クラブの分室とした理由は。

**答** おしゃもじ山クラブの児童保護者会にお願いして、指導員等も融通を付けてもらった経緯がある。これからも分室としてやってもらう予定だ。

**問** 見込みの人数は。

**答** 現在25人。将来は変動するが、30人程度。

**問** 町内に2つある学童の入所児童数は。

**答** 7月末現在で、おしゃもじ山クラブ87人、

銀河鉄道90は66人。

**問** 鳩山団地臨時水質検査の結果は。

**答** 不明水の検査で、界面活性剤の有無の検査を行った。唐沢川は検出されず、擁壁から検出されないが、浄化槽の管理不足も考えられるため、使用者に適切な管理及び、法定点検の受診等を勧奨する通知を出した。

**問** 町指定文化財保存事業費の内訳は。

**答** 貴重な町文化財を後世に伝えるべく、保存継承の為に活動費や、維持管理に係る経費の一部を補助している。支給対象は、お囃子や獅子舞などの無形民俗文化財の3団体

平成30年度一般会計決算（歳出）

民生費	28.4%	14億3,962万円
総務費	26.5%	13億4,454万円
公債費	10.2%	5億1,804万円
教育費	8.2%	4億1,472万円
土木費	8.1%	4億989万円
衛生費	7.1%	3億6,011万円
消防費	5.8%	2億9,356万円
農林水産業費	3.1%	1億5,955万円
議会費	1.7%	8,705万円
その他	0.9%	4,435万円

※その他は、商工費、労働費、諸支出費の合計です。  
※万円未満四捨五入のため、構成比が合わない場合があります。

平成30年度一般会計決算（歳入）

町税	33.8%	17億4,205万円
地方交付税	23.4%	12億401万円
町債	15.1%	7億7,632万円
国庫支出金	7.7%	3億9,635万円
県支出金	5.9%	3億223万円
地方消費税交付金	4.4%	2億2,684万円
繰越金	2.0%	1億418万円
ゴルフ場利用税交付金	1.7%	8,988万円
諸収入	1.1%	5,838万円
繰入金	0.7%	3,707万円
その他	4.2%	2億1,692万円

※その他は地方譲与税、使用料及び手数料などです。  
※万円未満四捨五入のため、構成比が合わない場合があります。

**問** 一時借入金利子41万円の内容は。  
**答** 金融機関から、利率0・559パーセントで一度だけ行った。金融機関から見積もり合わせをして安い所から借りた。

また、史跡・天然記念物を維持管理する3団体。補助以外に、昨年の台風被害で、国登録有形文化財に指定されている日野岡家住宅長屋門の修繕費。  
**問** 給食センター費収支マイナス51万円。これが続くと、運営資金が心配だが、見通しは。  
**答** 保護者から徴収している給食費は食材のみで、その他は町会計。運営資金の積立て額は、今現在210万円。最低でも、120万円くらいは必要。  
**問** 給食費の値上げに影響は。  
**答** 運営資金がいつまでもつか、状況を見ながらになる。食材の購入経費が上がっている。献立等、栄養士も研究しているが、いずれは、給食費を上げないと食材費が足りない。

**問** 大変申し訳ない。図面設計上、変わったところはあるか。  
**答** 太陽光発電の設置、敷地内のゲートボール場等について再度検討し、協議を地域の中で進めてきた。

その後は介護給付費準備積立金から利率0・1パーセントでの振替運用だが、本来なら内部団体からの借入れの利子はいらないと考えている。  
**問** 企業誘致の候補場所は何力所あるか。  
**答** 産業誘導エリアとして、6力所ある。  
**問** 上熊井集落センターの設計委託料について、なぜ議員に一度も図面を見せなかったのか。  
**答** 軀体に影響のない範囲で、内容や設備の充実など、地域住民が使いやすい施設にしたいという考えのもと、検討を重ねて来た結果、議会への説明が遅れてしまった。  
**問** いきなり図面を出されても、議会として判断に迷う。いかがか。  
**答** 大変申し訳ない。図面設計上、変わったところはあるか。  
**答** 太陽光発電の設置、敷地内のゲートボール場等について再度検討し、協議を地域の中で進めてきた。

地方交付税特別分で、町営路線バス分が多くもらえたことは、評価できる。自治会再編では、一般住民に何の説明もなく役員を決めたことに対し、町として民主的な方法を示さなかった。北部地域活性化事業の設計内容な

〈賛成討論〉  
厳しい財政運営が続いているが、総合計画の「協働戦略事業」である北部地域活性化事業や鳩山ニュータウン再生・創造事業を着実に推し進めてきた。町民との「約束」である事業であり、計画の完遂は必然性のあるものだ。（日坂）  
様々な事情により、補正され、執行されていくが、当初予算を組む段階で、精度の高い内容で組む努力をし、住民の要望がきちんと盛り込まれた予算にしていたきたい。全体的には努力され、適正に執行されている。（野田）

加入者の5割が軽減を受ける。所得100万円以下の世帯が多い中で、非常に高い保険となっている。均等割りの1人当たりの額は、近隣で一番高くなっている。基金を使い常設的に免除する制度など作るべき。（根岸）

〈反対討論〉  
国民健康保険事業  
平成30年度特別会計決算  
**問** 不納欠損額減少の理由は。  
**答** 平成26年度から、賦課及び徴収業務を町民課から税務課に移管した。町民課では少人数で、滞納整理業務に手が回らなかった事が原因。税務課では、積極的に不納欠損処理を行っている。  
※不納欠損：納税義務が消滅した税のこと

## 介護保険事業

**問** 介護保険料の不納欠損額77万円。何人か。

**答** 20人。

**問** 地域密着型介護が、増えたり減ったりしているが、予測できないか。

**答** 制度改正により、定員18人以下の事業所が地域密着型サービスへ移行された。これにより利用者が増加したため、補正予算を組んだ。町としてなかなか読みきれない。

**問** 介護予防生活支援サービス給付費は変動が多いが、事情を伺う。

**答** 制度改正により、保険給付費から移行されたために、昨年度比較で減少した。引き続き利用者が利用しやすいように、取り組んでいきたい。

### 〈反対討論〉

基金の活用がされていない。現場からの意見をもっと出すべき。地域密着型介護施設の増設推進や住宅改修、包括支援センターの事業充実を図る必要がある。(根岸)

## 平成30年度特別会計歳入歳出決算及び水道事業会計決算の状況

名 称	歳入決算額	歳出決算額	差引額
国民健康保険事業	21億5,770万円	20億3,091万円	1億2,679万円
後期高齢者医療事業	2億2,436万円	2億2,372万円	64万円
介護保険事業	11億9,314万円	11億1,836万円	7,478万円
今宿東土地区画整理事業	1億3,407万円	1億3,247万円	159万円
農業集落排水事業	3,735万円	3,718万円	17万円
浄化槽設置管理事業	2,300万円	2,099万円	201万円
水道事業(損益収支※税抜き)	2億6,988万円	2億6,517万円	471万円
水道事業(資本的収支)	2,361万円	6,115万円	※1 △3,754万円

※ 金額は万円未満四捨五入

※1 施設の整備などや拡充のための資本的収入及び支出は3,754の不足額が生じたため、過年度からの留保資金などで補てんしました。

## 条例

### 会計年度任用職員の報酬等に関する条例制定

法改正により、一般職非常勤職員が会計年度任用職員となります。

勤務時間により、フルタイム会計年度任用職員とパートタイム会計年度任用職員になり、フルタイム職員には期末手当等が支給されます。

**問** どの程度、人件費が増えると想定されるか。

**答** 概算で1200万円。

**問** 職員人数に入るのか。

**答** フルタイム職員は職員の人数に入る。

**問** 経費削減の流れに逆行するような条例制定となる。対応をどのように考えているか。

**答** 町の裁量の中で、できる限り費用の増加が少なくなるよう運用し、今後も改正等を考える。

**問** 時給を上げる必要があるのではないか。

**答** 最低賃金よりは、上げるよう検討している。

### 印鑑条例の一部改正

#### 〈賛成討論〉

印鑑登録原票から性別記載をなくしたことを高く評価する。(野田)

### 毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業施行規程の一部改正

清算金を分割徴収する場合、利率を年6パーセントから1パーセントに変更します。

**問** 改正の理由・経緯は。

**答** 121年ぶりに債権関係の民法が一部改正された。

改正民法の施行前だが、低金利が続く社会経済情勢や、事業の長期化による地権者の生活の変化等を考慮して、地権者に負担の少ない年1パーセントの利率とした。

#### 〈賛成討論〉

市中金利と比べて、年6パーセントの金利は高すぎる。(中山)

### 幼児教育・保育の無償化に関する条例

#### 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例

**問** 今までは、保育所運営について10分の7を町と県と国で負担し、10分の3は保護者負担。町独自に補填もしていたが、今後は、交付税措置がなれ、実質、町の負担はなくなるのか。

**答** 3歳から5歳が無償化になり、保護者負担分が国、県から交付金として新たに負担される。

**問** 町独自にゼロ歳から2歳までの保育の無償化あるいは軽減など、子育て支援策を考えないか。

**答** 子ども・子育て会議等に相談し、周辺自治体や、国の状況等を確認しながら検討していきたい。

#### 鳩山幼稚園保育料等徴収条例の一部改正

**問** 現在、各学年16人、17人だが、無償化による

児童数減少を防ぎ、幼稚園を持続させる取り組みを考えているか。

**答** 公立幼稚園を選ぶのは、保育料が安いことが大きな要因。保育料が無償化になる私立幼稚園入園を考える保護者が、増大することも予測される。職員の研修機会を十分に確保し、保育の質を上げ、できるだけ鳩山幼稚園に入園していただくよう努力していきたい。

**問** 3年保育の実施や預かり保育の実質無料化、一時保育もできるなど取り組みを進め、アピールしていただきたい。持続可能な人数は、1学年何人と考えるか。

**答** 今現在の人数ぐらいと考える。



保育料が無償になった鳩山幼稚園

**令和元年度  
一般会計補正予算**

**問** 子ども・子育て臨時交付金1100万円の交付時期が3月。支出に間に合わないのではないかと。 **答** 10月から幼児教育無償化が実施される。令和元年度は、消費税率引き上げに伴う地方増収がわずかなので、地方負担分として交付される。交付金の性格上、仕方がない。 **問** 地方交付税が2781万円増えた理由は何か。 **答** 基準財政需要額から基準財政収入額を引いたものが交付される。法人町民税・個人町民税が減少し、収入が減った。一方高齢者保健福祉費などが増加し、歳出が増えたので交付額が増えた。

の雨など、状況によって中に浸水するようだ。 **問** プレミアム付商品券事業費補助金1126万円は、いつ来るのか。 **答** 第1回概算払いが、9月末に180万円。その後、販売状況報告を経て、第2回概算払いが12月。事業終了後に実績報告に基づき、最終的な精算となる。 **問** 県補助金・地域公共交通活性化促進事業補助金300万円は何か。 **答** 町営路線バス及び町内循環バスを再編するため、停留所標識更新経費200万円を見込んでいた。その後、4月に公表された県補助金要領において、大橋バス・スターミナルへの待合所・運転手休憩所の整備経費及び交通マップ作成経費も、対象となることがわかった。当初予算と合わせて500万円の補助となる。

**泉井集落センター  
改築工事**

**工事請負契約の締結**

**問** 第1期泉井地区の活性化取組方針では総事業費1億6200万円。実際の総事業費はいくらか。 **答** 平成29・30年度に執行した分と本年度の予算額を含め、総事業費は2億4382万円。 **問** 一般会計からも支出するの。 **答** 全額を地元対策費で充当する。 **問** 設計価格を下回った予算の用途は。 **答** 仮契約金額との差額は3520万円。同センターの什器・備品を購入。入札11社、そのうち6社が辞退。理由は何か。 **答** 一般的な考えだが、請負金額が見合っていない、工事期間内では施工が困難、手持ち工事量が多い、工事に必要な人員が確保できないこと。 **問** 今も埋蔵文化財の調査をし、駐車場は道の反対側にも作る予定。工期

は間に合うのか。 **答** 地域の集会施設がなくなる期間が生じる。泉井さらさら祭りの終了後すぐに解体に入り、年度末までに完了させる。 **反対討論** 当初計画1億円に対し不測の追加で設計価格は2億2千万円と倍以上に膨れ上がっている。予算を管理し、超過しないための努力が見えない。この姿勢では、地元対策費はすぐに底をつき、借金を重ねるだけだ。(大質)

**上熊井集落センター  
整備工事**

**問** 上熊井地区の活性化取組方針には総事業費1億6200万円と明記されている。実際の総事業費はいくらか。 **答** 1億7925万円。 **問** 設計額あるいは当初予定額の価格差は、地域要望が出れば他に回すことができるのか。 **答** 地元対策費を活用して整備する施設だが、全体の工事経費が計画を上回っている。経費の圧縮を第一に考え、地域との話し合いをする。

**町道第2859号線  
外歩道整備工事**

**問** さらに変更が出る可能性はあるのか。 **答** 今回が最終となる。 **問** 今年度発注の第一区総予算はいくらか。 **答** 1億2000万円。今年度の計上予算を下回っている。 **問** 町道第1号線道路改良工事(第一工区) **問** 令和元年9月30日 **問** 令和2年3月27日 **問** 令和2年7月31日 **問** 令和2年3月31日 **問** 令和2年7月31日



### 公平委員会委員に

### 小峰伊佐男氏

公平委員会委員の任期満了に伴い、小峰伊佐男氏（赤沼在住）の選任に同意しました。



### 教育委員会委員に

### 小峰 洋氏

教育委員会委員の任期満了に伴い、小峰洋氏（熊井在住）の再任に同意しました。



### 教育委員会委員に

### 伊藤絵里子氏

教育委員会委員に欠員が生じたことに伴い、伊藤絵里子氏（赤沼在住）の任命に同意しました。



## 第1回臨時会報告

7月12日に臨時会が開催されました。

### 工事請負契約の変更

### 町道第1号線道路改良工事（第二工区）

#### 〈変更内容〉

- ・履行期限を令和元年9月30日までに延長。
- ・2239万円を追加し、請負金額を1億1260万円とす。

#### 〈理由〉

工事による通行止めを極力減らす施工方法や地盤改良の工法により、作業日数がかかった。

現場から出る建設発生土を泉井交流体験エリア造成工事に、再利用する予定だったが、粘性土で流用できない。そのため残土処分に2128万円かかる。

**問** 近隣住民からの苦情はどのようか。

**答** 道路のそばが走りにくい、夜間に反射材

がまぶしい、片側交互交通時に大型車が通りにくい、走行時に車が汚れたなどの苦情がある。

**問** 新沼窯跡から大変近く、遺跡出土等の影響は出たのか。

**答** 工事区間は、天沼遺跡に該当する。平成30年10月に試掘調査を実施した。古代の竪穴住居や中近世の土抗、溝などが発見された。

盛り土により文化財保護が可能な歩道部分は、文化財担当職員が工事の立ち合い、掘削する道路本体部分は、発掘調査を行うことで合意。

発掘調査により掘立柱建物1棟、土抗6基、溝11条などを発見し、須恵器や瓦、陶磁器、鉄製品、板碑などが出土した。その間は工事ができなかったが、影響を最小限に抑えた。

**問** 残土はどこに搬出するのか。

**答** 日高市の土質改良プラントに搬出している。

**問** 土質検査をしていれば、流用できない事は予

想できたのでは。

**答** 発生土流用の土質調査は、80センチメートルの路床の土を採取。そのため工事着手後の調査となる。強い粘性土で、想定以上の土だった。

**問** 電話線の移設が遅れたのはどういふことか。

**答** 移転先の地権者との調整に手間取った。

**問** 道路改良工事と水道工事を同じ業者で、できなかったのか。

**答** 水道管布設工事は、当初から想定される工事道路工事の関連工事として、道路工事施工業者に随意契約で発注することは、法令の規定によりできなかった。

**問** 1号線の水道工事予定はいつだったか。

**答** 経費を考え、同時にやるよう予定を組んだ。

**問** 今後の工事の中で、土質に関して同じような箇所が発生すると想定されるか。

**答** 今後の工事において、判定基準の材料になる。

**問** 1号線整備事業（全工区）の、現時点での概算

総額は。

**答** 6億1000万円。第一工区予算額は1億3400円となる。

**問** 契約変更の前に、既に工事を進めている。議会に対して説明が必要ではなかったか。

**答** 選挙等があり、説明ができなかった。

### 〈反対討論〉

3月議会で工期の変更、今回また工期の延長と2239万円もの金額の追加との事。9月議会で、また変更の可能性もあり。不測の事態ばかりで見通しが甘い。行き当たりばったりの変更契約には反対する。（大賀）



残土処分予定超過の町道第1号線